

ぎかいだより

三芳町

平成20.5.15発行
第128号



桑の実三芳保育園（初めての民間保育園）の入園式

紙面から

〈平成20年度〉一般会計予算可決	2
〈平成20年度〉特別会計予算可決	4
一般質問	6
視察研修レポート	11
意見書	12
議長・副議長を選出	14
傍聴席から	15

発行：三芳町議会

編集：議会だより編集委員会

〒354-8555

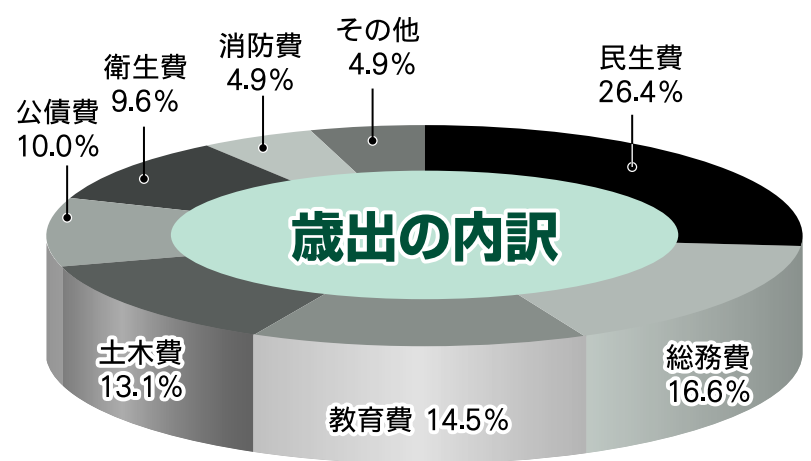
埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100-1

TEL 049-258-0019

FAX 049-274-1057

✉ gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

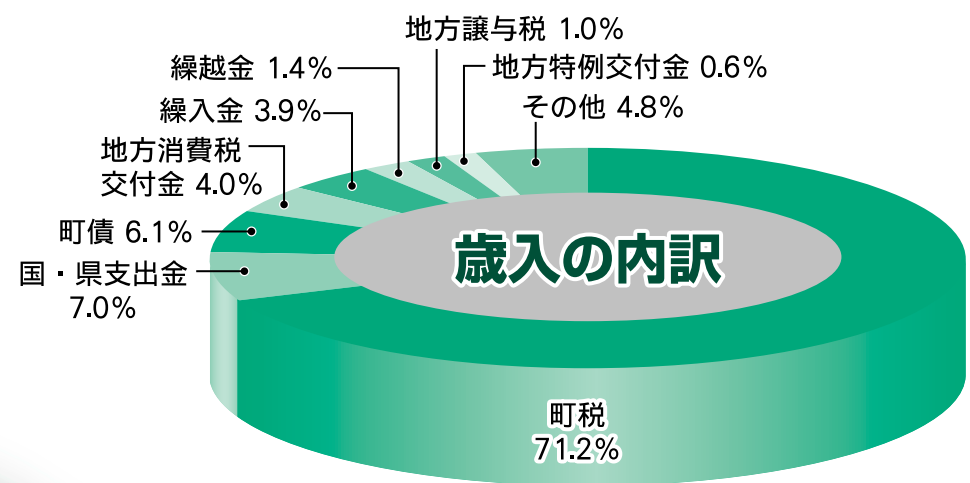
〔3月3日～25日〕



平成20年度 一般会計 当初予算

総額 105億 7565万円

前年度に比べて1841万6000円の増額



民生費	27億 9033万円	土木費	13億 8334万 5000円
総務費	17億 5839万 5000円	衛生費	10億 1265万 6000円
教育費	15億 3593万円	公債費	10億 5996万 4000円

町税	75億 2698万 7000円	(前年度比 2156万円減)
国・県支出金	7億 4613万 7000円	(前年度比 439万円減)
町債	6億 4500万円	(前年度比 5800万円増)
地方消費税交付金	4億 2500万円	(前年度比 400万円減)

平成20年度一般会計予算は、本会議の5日間にわたり審議され、賛成多数で原案どおり可決されました。

住んでよかった 生まれてよかった
ずっと住み続けていきたい
みよしまち

新規事業と主な事業

- 地域防災計画の改定
- 民間保育所保育委託事業
- 藤久保交差点改良事業（県委託事業）
- 公園等築造事業
- 藤久保小学校校舎耐震補強事業
- 藤久保公民館エレベータ設置事業
- 図書館ブックスタート事業

賛成論 子どもや高齢者に対する施策や、集中豪雨時対応の下水道工事などを評価する
21クラブ

町税の減収とともに、県からの福祉3医療費補助率引き下げなど、厳しい財政状況下にあいながらも、子ども医療費無料化の継続、藤久保公民館エレベータ設置など、高齢者へも配慮がされている。あわせて、集中豪雨時に対応できる下水道工事などを高く評価して予算案に賛成する。

賛成論 国保税の値上げをせず、福祉や社会保障に力を入れる考えを評価する
日本共産党

「税金を上げないで」、「社会保障の充実を」と住民は望んでいる。国民健康保険税の値上げをしなかったことや藤久保地域の洪水対策など、日本共産党議員団が提案した福祉や子育て支援の社会保障に力を入れたこと、住宅リフォーム助成の継続などの姿勢を評価する。

賛成論 厳しい財政状況の中でも各分野に施策を掲げた積極的な予算配分となっている
公明党

透明で公正な電子入札導入推進、床上床下浸水対策として幹線16号線下水道事業、子育て支援に妊婦健診無料化拡大、住民要望にこたえる公園整備、高齢者や障がい者に配慮した藤久保公民館エレベータ設置等、厳しい財政状況の中で各分野に施策を掲げ、積極的な予算配分をされており、賛成する。

・今定例会のあらまし・
平成20年第1回三芳町議会定例会は、3月3日から18日までの予定でしたが、会期延長により3月25日までの23日間にわたって開かれました。
この定例会では、冒頭に町長が平成20年度の施政方針を表明し、議員の提出議案である「三芳町議会会議規則の一部を改正する規則」及び町長提出の「平成20年度一般会計予算、特別会計予算」、「協働のまちづくり条例」、「後期高齢者医療に関する条例」、「墓地等の経営の許可等に関する条例」、「課室設置条例の一部を改正する条例」など議案27件が原案どおり可決され、「公平委員会委員の選任同意」の人事案件1件は、原案どおり同意いたしました。
また、一般質問については、3日間にわたり10名の議員が行い、町政全般について活発な議論が展開されました。
議員提出の意見書4件「中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書について」、「非核日本宣言」を求める意見書について、「後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書について」及び「医師・看護師等の増員を求める意見書については、原案どおり『可決』されました。
なお、平成20年度一般会計予算の議案について、議員から「予算編成替えの動議」が2件提出されましたが、1件は撤回され、1件は『否決』されました。

国民健康保険特別会計

予算総額 35億6483万4千円 (対前年度比 2.4%減)

歳入の主な構成比は、国民健康保険税が29.5%、国庫支出金が20.2%、療養給付費等交付金が6.8%、前期高齢者交付金が16.3%、県支出金が4.5%、一般会計繰入金金が11.2%などとなっています。歳出の大部分を占める医療費等の構成比は、保険給付費が67.2%、後期高齢者支援金等が12.9%、老人保健拠出金が2.2%、介護納付金が5.4%などとなっています。

滞納付策と療養は別にすべき

国保法・医療法・医師法は誰でも必要ときに医療を受けられる国民の権利に込められている。しかし、国は法改正で滞納者から保険証取り上げを義務化し、町は取り上げを続けている。その受診率は一般の2%で、手遅れ受診となる滞納付策と療養の確保は別個にすべきだ。

老人保健特別会計

予算総額 4億4973万9千円 (対前年度比 77.7%減)

歳入の構成比は、支払基金交付金が54.8%、国庫支出金が30.1%などとなっています。歳出は、そのほとんどを医療諸費が占めています。

後期高齢者医療特別会計

予算総額 2億5400万2千円 ※今年度から予算化

歳入の構成比は、後期高齢者医療保険料が90%となっています。歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金が98.9%を占めています。

年金から天引きするこの制度に反対する

政府は、後期高齢者の医療費を2015年には2兆円、2025年には5兆円

条例の制定・一部改正

三芳町後期高齢者医療に関する条例

新規 平成20年4月1日から、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)が施行されることに伴い制定するもので、三芳町が行う事務や保険料の徴収等に係わる事項を定めるものです。



賛成

少子高齢化で高齢者の医療を支える国民健康保険が破綻の危機にある。この条例は国の法律に基づいて制定されるもので、国民皆保険制度の維持及び高齢者の医療を受ける権利を守るためにも必要な制度であり、保険料の負担についても所得の低い方に軽減措置が設けられており、賛成する。

反対

75歳以上のすべての人から医療保険料を徴収する後期高齢者医療制度はやめるべきだ。生活費よりも先に、年金から天引きの医療保険徴収は、憲法の生存権に反することだ。医療にかかりにくくしたり、保険証の取り上げも問題だ。社会貢献の高齢者に対する弱いものいじめの制度で反対。

下水道事業特別会計

予算総額 9億2195万6千円 (対前年度比 9.2%減)

歳入の構成比については、使用料及び手数料が53.9%、一般会計等からの繰入金金が35.3%、町債が7.8%などとなっています。歳出の構成比については、総務費が31.4%、事業費が10.8%、公債費が57.5%などとなっています。

水道事業会計

今年度の業務予定量 (給水戸数) 1万4900戸 (一日平均給水量) 1万6240m

収益的収支(給水事業予算)は、収益8億3396万8千円に対し、費用8億2598万1千円となっています。資本的収支(水道施設整備予算)は、収入1億6975万5千円、支出3億1123万

三芳町協働のまちづくり

新規 まちづくりへの住民参加を促進し、住民自治の実現に寄与するため制定するもので、住民と町の協働によるまちづくりに関し基本的な事項を定めるものです。



三芳町墓地等の経営の許可等に関する条例

新規 平成20年度より、墓地等の経営の許可権限が、埼玉県知事から三芳町長に移譲されることから制定するもので、墓地・納骨堂及び火葬場の経営の許可等に係わる手続き及び基準、その他の必要な事項を定めるものです。

三芳町国民健康保険条例の一部改正

改正 健康保険法等の改正に伴い、4月分から医療費の一部負担金の割合及び年齢要件を改正し、6月から葬

2千円となっています。今後は、配水管新設事業及び浄水場整備事業を強化するとともに、経費削減及び経営の健全化を図り、安定給水に努めてまいります。

【第1回定例会 審議結果】

- 三芳町議会会議規則の一部を改正する規則
平成19年度三芳町一般会計補正予算(第4号)
平成19年度三芳町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
平成19年度三芳町介護保険特別会計補正予算(第2号)
平成19年度三芳町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
平成19年度三芳町水道事業会計補正予算(第3号)
以上原案可決
三芳町協働のまちづくり条例
三芳町後期高齢者医療に関する条例
三芳町墓地等の経営の許可等に関する条例
三芳町国民健康保険条例の一部を改正する条例
三芳町手数料条例の一部を改正する条例
三芳町乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
三芳町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
三芳町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
以上原案可決

反対

高齢者の生活をますます脅かすことになる

70歳から74歳の医療費自己負担1割から2割へ引き上げ、葬祭費10万円から5万円へ引き下げ、乳幼児医療費2割負担の年齢拡大、特定健康審査の実施等の改正で、高齢者にとっては、相次ぐ増税と諸物価の高騰による影響もあわせ、ますます「いのちと暮らし」を脅かすことになり、認められない。

「同意しました」

公平委員会委員に鈴木左内氏を選任
公平委員会委員の任期満了に伴い、議会の同意を求められましたので、適任と認め同意いたしました。

【意見書】

- 中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書について
「非核日本宣言」を求める意見書について
後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書について
医師・看護師等の増員を求める意見書について
以上原案可決